

地域 基準

基準の種類	基礎及び土間断熱	壁断熱	屋根断熱	開口部	換気
外断熱推進会議推奨基準	土に面する部分、ピット内の住戸に面する部分、及び床スラブ面から1000mmまでは、熱貫流率(U値)0.4W/m ² ・K以下(押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)75mm以上)とし、水に対する抵抗力のある材料(透湿抵抗の高い材料)とする。	断熱材が躯体に密着し、熱貫流率(U値)がおおむね0.4W/m ² ・K以下(GW24K(同等品)100mm以上・EPS断熱材(同等品)100mm以上)である。結露防止の措置(熱橋対策)がとられていること。	断熱材が躯体に密着し、熱貫流率(U値)がおおむね0.2W/m ² ・K以下(GW24K(同等品)200mm以上・押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)150mm以上)である。結露防止の措置(熱橋対策)がとられていること。	JIS A4706、JIS A4702の規定によるH-5等級(熱貫流率(U値)2.33W/m ² ・K以下)を満たす。	2時間に1回の換気が確保される熱交換型換気装置(第一種換気設備)を備えているものを推奨する。
次世代省エネ基準外断熱	土間床等の外周部で、外気に接する部分は、熱貫流率(U値)0.58W/m ² ・K以下(押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)25mm以上)とする。その他の部分は、熱貫流率(U値)0.83W/m ² ・K以下(押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)10mm以上)とする。	熱貫流率(U値)がおおむね0.86W/m ² ・K以下(GW24K(同等品)40mm以上・EPS断熱材(同等品)40mm以上)である。	熱貫流率(U値)がおおむね0.43W/m ² ・K以下(GW24K(同等品)80mm以上・押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)60mm以上)である。	地域においては、JIS A4706、JIS A4702の規定によるH-3等級(熱貫流率(U値)3.49W/m ² ・K以下)を満たす。 ～ 地域においては、H-1等級(熱貫流率(U値)4.65W/m ² ・K以下)を満たすものとする。	2時間に1回の換気が確保される機械換気設備を備えているものを推奨する。
次世代省エネ基準内断熱	土間床等の外周部で、外気に接する部分は、熱貫流率(U値)0.58W/m ² ・K以下(押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)25mm以上)とする。その他の部分は、熱貫流率(U値)0.83W/m ² ・K以下(押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)10mm以上)とする。	熱貫流率(U値)がおおむね0.75W/m ² ・K以下(GW24K(同等品)45mm以上・EPS断熱材(同等品)45mm以上)である。	熱貫流率(U値)がおおむね0.37W/m ² ・K以下(GW24K(同等品)100mm以上・押出成形ポリスチレンフォーム3種B(同等品)70mm以上)である。	地域においては、JIS A4706、JIS A4702の規定によるH-3等級(熱貫流率(U値)3.49W/m ² ・K以下)を満たす。 ～ 地域においては、H-1等級(熱貫流率(U値)4.65W/m ² ・K以下)を満たすものとする。	2時間に1回の換気が確保される機械換気設備を備えているものを推奨する。

*部位別の熱貫流率(U値)は、建物からの熱損失をトータルに考え、開口部等の性能が基準を超える場合は部位の断熱厚さが変わっても良しとする

*建物の建設に当たっては、部位ごとの熱及び湿気の移動について非定常熱湿気同時移動解析プログラムによる解析を行い確認することとする。

*外断熱建物の住まい方についても留意し、日射遮蔽や夜間通風、日射の有効活用を行うことが必要である。